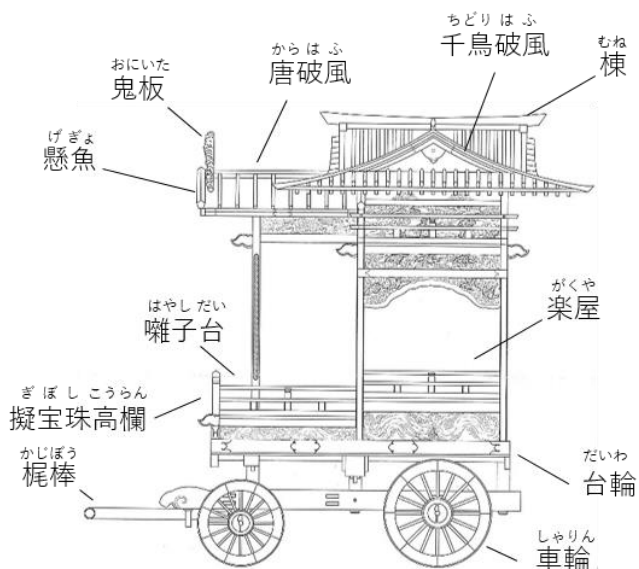


たてばんこ
立版古 八王子の山車
～堂宮形式の山車～

山車の各部名称



※ 三崎町の山車をモデルにしています。

製作手順

■ 準備するもの

カッター（ハサミ）、カッターマット、定規、のり（ボンド）、粘着テープ（セロハンテープ） ※洗濯ばさみ、竹串等があると便利。

■ 印刷

A4 サイズ×3枚 カラー印刷で出力する。

※ 厚手の紙（0.2 mm 程度）を使用すると作りやすい。

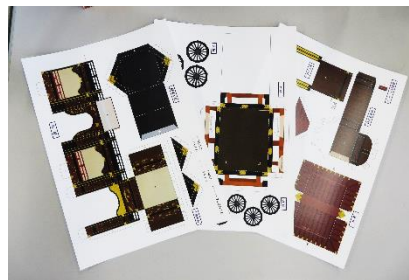
■ パーツの準備

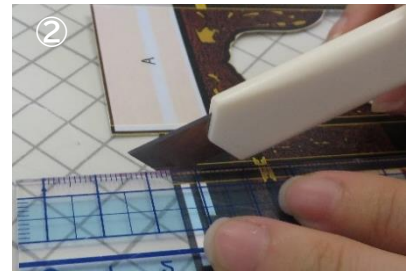
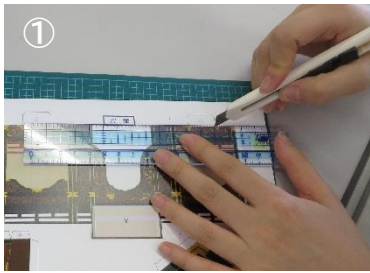
① 全てのパーツを切り抜く。

※ 高欄の白い部分は切り抜いても切り抜かなくてもよい。

② 折り線に沿って折り目をつける。のりしろ（☆）も山折りにする。差込（◇）は折らない。

※ カッターの背などで折り目をつけると折りやすい。





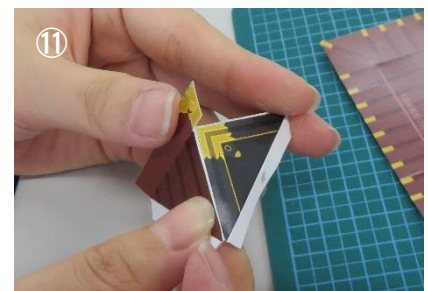
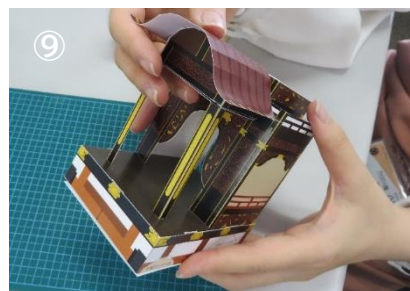
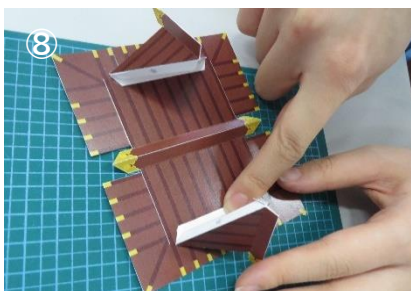
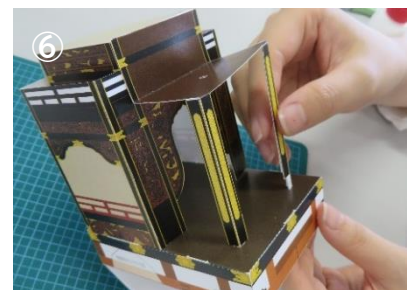
■ 本体部分（台輪・楽屋・囃子台）の組立て

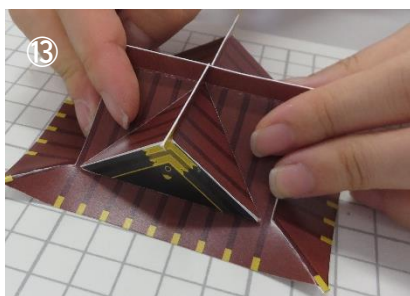
- ③ 台輪部を組み立てる。 ※底は閉じない
- ④ 楽屋部を組み立てる。
- ⑤ 台輪部に楽屋部を差し込み、両脇の差込をテープで固定する。
- ⑥ 囃子台の屋根と柱を取り付ける。



■ 屋根の組立て

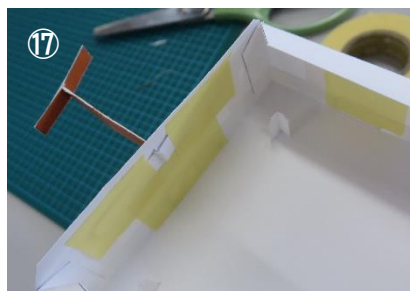
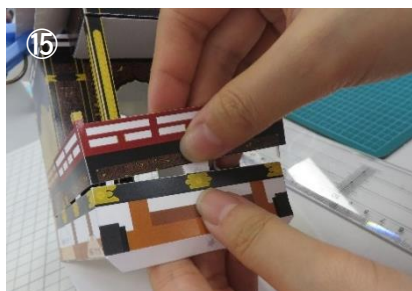
- ⑦ 唐破風をのせる台（唐破風土台）を組み立てる。
- ⑧ 唐破風屋根の両側をペンや鉛筆を用いて外側にカールするように形を整え、⑦の台に接着する。
- ⑨ ⑧の台を囃子台の上部に取り付ける。
- ⑩ 屋根をのせる台（屋根土台）を組み立てる。
- ⑪ 千鳥破風を組み立てる。
- ⑫ 屋根に千鳥破風を取り付ける。 ※屋根の棟は千鳥破風をつけてからのり付けする。
- ⑬ 屋根を⑩に接着する。
- ⑭ ⑬の屋根を楽屋部の上に取り付け、側面の屋根を整えてのり付けする。





■ 付属品の取付け

- ⑮ 擬宝珠高欄を囃子台に差込み、内側をテープで固定する
- ⑯ 梶棒を組み立てる。
- ⑰ 梶棒を台輪部に差込み、内側を折り、テープで固定する。
- ⑱ 台輪部の底を閉じる。
- ⑲ 鬼板を唐破風に上から差し込む。
- ⑳ 懸魚を鬼板ののりしろ部分に張り付ける。
- ㉑ 車輪を貼り合わせる。
- ㉒ 車輪を取り付ける。※小さい車輪が前方、大きい車輪が後方。



完成 !!

